



鈴木 将浩
自民党市議団

PPP/PFIの
推進について

問 PFI導入基本方針や、PPP/PFI手法導入優先的検討規程の策定を検討しては

答 PFI導入基本方針等は具体的な検討を進めたい。一方、PPP/PFI手法導入優先的検討規程は、国から策定要請が出される段階ではないが、情報収集に努め、策定に向けた準備を進めたい。

問 地元事業者が参画しやすい環境づくりのため、地域プラットフォームの形成を検討してはどうか。

答 PFI導入基本方針等と併せて検討する。

問 サウンディング型市場調査を進めることで、民間の資金やノウハウの活用が期待できるが、実績はあるか。

答 令和2年度に竹島

レストハウス等の今後の活用方法を検討するにあたり実施した。

第2期障害児等福祉計画について

問 官民一体の勉強会について市の考えは。

答 関係機関との連携強化に役立つ勉強会の開催方法を検討したい。

蒲郡若者議会について

問 提案された政策の評価及び提案内容の検討状況は。

答 若者視点の貴重な意見として捉えている。政策提言は庁内で情報共有を行い、行政として協働できないか検討を進めていく。



泰 内 滋
自民党市議団

徐福伝説による国際交流をはじめとしたまちおこし

問 徐福という人物についての認識を伺う。

答 中国で編さんされた「史記」において、海中にある、仙人が住むという地に向けて、数千人を連れて出航したとされる人物と認識。

問 2022年は日中国交正常化50周年。穂の国のロマンを研究し国際交流やまちおこしにつなげることが大事だと思いがどうか。

答 穂の国では、徐福一行が三河に移り住み子孫が秦氏を名乗ったという説や、秦氏が豊川市の菟足神社を現在地に移した伝説がある。今後、新たな史実が明らかになれば観光資源となる可能性はある。

市民病院の安定経営について

問 3年連続の黒字を見込み安定経営に近づいているところであるが、新棟建設の可否について、検討状況及び結論を伺う。

答 検討の結果、今後の医療スタッフの充実や経営の安定化等を行うには、既存設備では限界にあることが改めて分かった。現在の病床数を確保しつつ2次医療機関として対応するために、既存棟の西側に新棟を建設し、既存棟と併せて病院機能の強化を図っていきたい。令和4年度当初予算では新棟建設の基本設計委託料をはじめとした経費を要求し、建設整備を進めたい。



市民病院



林 大須賀
自民党市議団

下水道事業について

問 浜町地区は事業計画区域に含まれないが、将来的に整備するのか

答 現段階で管渠整備の予定はない。整備する場合、下水道浄化センターの新たな施設改良のため、多大な費用が必要となる。今後、現事業計画区域内の整備完了後、利用者の意向やセンターの施設改良計画等を勘案の上、慎重に判断する。

問 下水道事業の安定経営のため、料金改定の見直しはどのようか。

答 令和6年度に使用料単価を1㎡当たり137円に改定すると、9年度に当期純損益が黒字に転じ、12年度までに経費回収率を100%以上に達成できる見込みである。今後、料金設定及び改定時期

の検討を行う。
問 下水道浄化センターの存続を含めた将来の計画は。豊川浄化センターに接続することについて、市の考えは。

答 今後も施設を適正に運転し、安定した放流水の水質確保のため、設備の改築、更新を行っていく予定である。現時点で国や県との協議、調整が行われておらず、経費削減効果も不明だが、将来にわたる持続的な経営を確保する観点から広域化・共同化の可能性を検討する中で、豊川浄化センターへの下水道施設の統合について、その可能性を排除するものではないと考えている。



下水道浄化センター